

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-254061
 (43)Date of publication of application : 18.09.2001

(51)Int.Cl. C09J 7/02
 A61F 13/49
 A61F 13/58
 A61F 13/56
 B32B 7/06

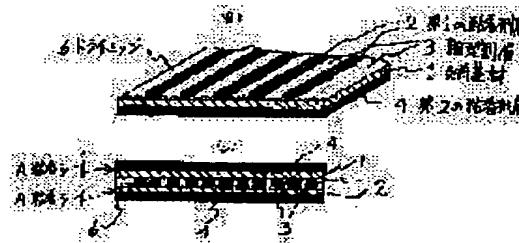
(21)Application number : 2000-397121 (71)Applicant : NITTO DENKO CORP
 (22)Date of filing : 17.09.1992 (72)Inventor : ARAKAWA MASAAKI

(54) PRESSURE-SENSITIVE ADHESIVE SHEET AND ROLLED BODY THEREOF

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a pressure-sensitive adhesive sheet which does not necessarily need a separator and is used suitably as a double-sided tape, masking tape, label or the like primarily in sanitary articles such as disposable pocket heaters and napkins, in life-related throwaway items such as paper diapers, and in various other uses.

SOLUTION: A first pressure-sensitive adhesive layer and a releasing agent layer are provided adjacently to each other on one side of a supporting base material, and a second pressure-sensitive adhesive layer is provided on all or part of the other side of the material. Upon use, the first pressure-sensitive adhesive layer and the releasing agent layer are piled up with their surfaces facing each other.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.12.2000
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number] 3502606
 [Date of registration] 12.12.2003
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-254061

(P2001-254061A)

(43)公開日 平成13年9月18日 (2001.9.18)

(51)Int.Cl.*

C 0 9 J 7/02

A 6 1 F 13/49

13/58

13/56

B 3 2 B 7/06

識別記号

F I

C 0 9 J 7/02

テマコード(参考)

Z

B 3 2 B 7/06

J

A 4 1 B 13/02

A 6 1 F 13/18

3 5 0

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

(21)出願番号

特願2000-397121(P2000-397121)

(62)分割の表示

特願平4-247529の分割

(22)出願日

平成4年9月17日(1992.9.17)

(71)出願人 000003964

日東電工株式会社

大阪府茨木市下穂積1丁目1番2号

(72)発明者 荒川 正章

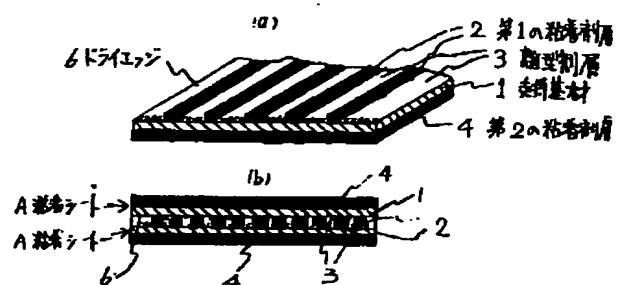
大阪府茨木市下穂積1丁目1番2号 日東
電工株式会社内

(54)【発明の名称】 粘着シート及びその巻回体

(57)【要約】

【目的】 本発明は、必ずしもセパレーターを必要としない粘着シートに関し、主として使い捨てカイロ、ナップキン等の衛生用品、紙オムツ等の生活関連の使い捨て物品、あるいは他の種々用途における両面テープ、マスキングテープ、ラベル等として好適に用いられる粘着シートを提供するものである。

【構成】 支持基材の片面に、第1の粘着剤層と離型剤層がとなり合うように設けられ、かつ他面の全面もしくは部分面に、第2の粘着剤層が設けられてなり、使用に際しては、上記第1の粘着剤層と離型剤層が対向するよう重ね合わされて使用される。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 支持基材の片面に、第1の粘着剤層と離型剤層がとなり合うように設けられ、かつ他面の全面もしくは部分面に、第2の粘着剤層が設けられてなり、使用に際しては、上記第1の粘着剤層と離型剤層が対向するように重ね合わされて使用されることを特徴とする粘着シート。

【請求項2】 支持基材の片面に、粘着剤層と第1の離型剤層がとなり合うように設けられ、かつ他面の全面もしくは部分面に、第2の離型剤層が設けられてなり、使用に際しては、上記粘着剤層と第1の離型剤層が対向するように重ね合わされて使用されることを特徴とする粘着シート。

【請求項3】 支持基材の片面もしくは両面に、粘着剤層と離型剤層がとなり合うように設けられてなり、使用に際しては、該粘着剤層と離型剤層が対向するように重ね合わされて使用されることを特徴とする粘着シート。

【請求項4】 両端もしくは片端がドライエッジになっている請求項1～3記載の粘着シート。

【請求項5】 請求項1～4記載の粘着シートがロール状に巻かれてなる粘着シートの巻回体。

【請求項6】 請求項1～4記載の粘着シートが、セパレーター上に間隔をあけて設けられてロール状に巻かれてなる粘着シートの巻回体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、必ずしもセパレーターを必要としない粘着シートに関し、主として使い捨てカイロ、ナプキン等の衛生用品、紙オムツ等の生活関連の使い捨て物品、あるいは他の種々用途における両面テープ、マスキングテープ、ラベル等として好適に用いられるものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えば使い捨てカイロ等の使い捨て物品を、衣服等の被着体に固定する場合、両面テープが用いられたり、ホットメルト型接着剤を塗工して、それらの上に設けられたセパレーターを除去して使用していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、この方法では、セパレーターを剥がしたり捨てたりすることが必要で、使い方が煩雑となる。また地球環境の保護の点からも、捨てるものは極力抑える必要性が高まっており、セパレーターを必要としない粘着シートが強く要望されている。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記の問題点を改良するためになされたもので、後述の実例で詳細に説明するが、特定構造の粘着シートとすることにより、従来不可欠であったセパレーターを省略することができ

る。

【0005】 即ち、本発明の第1は、支持基材の片面に、第1の粘着剤層と離型剤層がとなり合うように設けられ、かつ他面の全面もしくは部分面に、第2の粘着剤層が設けられてなり、使用に際しては、上記第1の粘着剤層と離型剤層が対向するように重ね合わされて使用されることを特徴とする粘着シートを提供する。

【0006】 また、本発明の第2は、粘着剤層と第1の離型剤層がとなり合うように設けられ、かつ他面の全面もしくは部分面に、第2の離型剤層が設けられてなり、使用に際しては、上記粘着剤層と第1の離型剤層が対向するように重ね合わされて使用されることを特徴とする粘着シートを提供する。

【0007】 また、本発明の第3は、支持基材の片面もしくは両面に、粘着剤層と離型剤層がとなり合うように設けられてなり、使用に際しては、該粘着剤層と離型剤層が対向するように重ね合わされて使用されることを特徴とする粘着シートを提供する。

【0008】 以下、本発明の実例を図面にもとづいて説明する。図1(a)は、本発明の第1の粘着シートの実例を示す斜視図であり、支持基材1の片面に、第1の粘着剤層2と離型剤層3がとなり合うように交互に設けられ、かつ他面の全面に、第2の粘着剤層4が設けられてなる。なおこの粘着シートを、必要に応じてセパレーター(図示せず)とともにロール状に巻いて巻回体とすることもできる。

【0009】 図1(b)は、図1(a)の粘着シートAの2枚を、一方のシートの第1の粘着剤層2と他方のシートの離型剤層3が対向するように貼り合わせたシートを示す断面図で、使用の際には、両粘着シート間で剥離自在とすることができる。またこのシートをセパレーター(図示せず)を介してロール状に巻いて巻回体とすることもできる。

【0010】 図2は、本発明の第2の粘着シートの実例を示す断面図であり、支持基材1の片面に、粘着剤層2と第1の離型剤層3がとなり合うように交互に設けられ、かつ他面の全面に、第2の離型剤層5が設けられてなる粘着シートB1と、他面の部分面に第2の離型剤層5が設けられてなる粘着シートB2と、粘着剤層2と第1の離型剤層3が対向するように重ね合わされている。なおこの粘着シートを、必要に応じてセパレーター(図示せず)とともにロール状に巻いて巻回体とすることもできる。

【0011】 図3は、図1(a)の粘着シートAの使用形態の実例を示す断面図であり、2枚の粘着シートAを被着体Tに第2の粘着剤層4でそれぞれ固定し、一方のシートの第1の粘着剤層2と他方のシートの離型剤層3が対向するように重ね合わせて、両粘着シート間で剥離自在とすることができる。

【0012】 図4(a)は、本発明の第3の粘着シートの

(3)

3

実例を示す斜視図であり、支持基材1の両面に、粘着剤層2と離型剤層3がとなり合うように交互に設けられる。なお、必要に応じてこの粘着シートの片面もしくは両面にセパレーター(図示せず)を介してロール状に巻いて巻回体とすることもできる。

【0013】図4(b)は、図4(a)の2枚の粘着シートC1及びC2を、一方のシートC1の粘着剤層2と他方のシートC2の離型剤層3が対向するように貼り合わせたもので、使用の際には、両粘着シート間で剥離自在とすることができる。またこのシートをセパレーターを介さずロール状に巻いて巻回体とすることもできる。

【0014】また図5は、図4(a)の粘着シートの使用形態の他例を示す断面図であり、1枚の粘着シートCを折り曲げた状態で、被着体Tに片面側の粘着剤層2で固定し、他面側の粘着剤層2と離型剤層3が対向するように重ね合わせて、粘着シート間で剥離自在とすることができる。

【0015】図6は、本発明の第3の粘着シートの使用形態を示す断面図であり、支持基材1の片面に、粘着剤層2と離型剤層3がとなり合うように交互に設けられ、他面には何も設けられていない粘着シートDが2枚、粘着剤層2と離型剤層3が対向するように重ね合わせて、粘着シート間で剥離自在とすることができる。

【0016】図7は、本発明の第1の粘着シートの他例を示す断面図であり、支持基材1の片面に、第1の粘着剤層2と離型剤層3がとなり合うように設けられ、かつ他面の部分面に、第2の粘着剤層4が設けられてなる。

【0017】図8(a)は、図7の粘着シートの使用形態の実例を示す斜視図、図8(b)はその断面図であり、第2の粘着剤層4により被着体Tに接着され、第1の粘着剤層2と離型剤層3が対向するように重ね合わせて、両層間で剥離自在とすることができる。

【0018】また本発明においては、図1～7に示す如く、粘着テープの両端もしくは片端を、ドライエッジ6とすることにより、使用の際に端部をめくりやすくすることもできる。

【0019】図9は、図4(a)の粘着シートCをロール状に巻いてなる巻回体を示す斜視図であり、セパレーターなしでロール状の両面テープとすることもできる。

【0020】図10は、本発明の粘着シートCの巻回体の他例を示す斜視図であり、粘着シートCが、セパレーターS上にほぼ一定の間隔をあけて設けられてロール状に巻かれてなる巻回体であって、これによれば、被着体である物品に間欠的に貼り合わせ加工が必要な場合でも加工設備を投資することもなく、加工ができる。

【0021】本発明の粘着シートは、上記の如く構造に特徴を有するものであって、各構成部材の材質等は何ら限定されるものではない。しかし本発明においては、

4

例えば支持基材としては、例えば不織布やプラスチックフィルムなどが用いられ、特にやわらかくかつ腰のある材料からが適宜選択するのが好ましい。また粘着剤としては、好ましくはステレン系粘着剤が用いられ、特にS E B S(ステレン-エチレン-ブタジエン-ステレン共重合体)からなる粘着剤が好適であり、その他アクリル系、ゴム系、オレフィン系などが用いられる。また離型剤としては、通常シリコーン系、長鎖アクリル系などの離型剤が用いられる。

10 【0022】

【発明の効果】本発明の粘着シートは、特定構造とすることにより、従来不可欠であったセパレーターを省略することができ、使用時の煩雑さや環境問題、コスト問題を解決するという利点があり、その用途はこれら限定されないが、例えば、使い捨てカイロ、ナプキン等の衛生用品、紙オムツ等の生活関連の使い捨て物品、あるいは他の種々用途における両面テープ、マスキングテープ、ラベル等として好適に用いられる。

20 【図面の簡単な説明】

【図1】図1(a)は本発明の第1の粘着シートの実例を示す斜視図、図1(b)はその使用形態を示す断面図である。

【図2】本発明の第2の粘着シートの実例を示す断面図である。

【図3】図1(a)の粘着シートの使用形態の実例を示す断面図である。

【図4】図4(a)は本発明の第3の粘着シートの実例を示す斜視図、図4(b)はその使用形態を示す断面図である。

30 【図5】図4(a)の粘着シートの使用形態の他例を示す断面図である。

【図6】本発明の第3の粘着シートの使用形態を示す断面図である。

【図7】本発明の第1の粘着シートの他例を示す断面図である。

【図8】図8(a)は図7の粘着シートの使用形態の実例を示す斜視図、図8(b)はその断面図である。

【図9】図4(a)の粘着シートの巻回体を示す斜視図である。

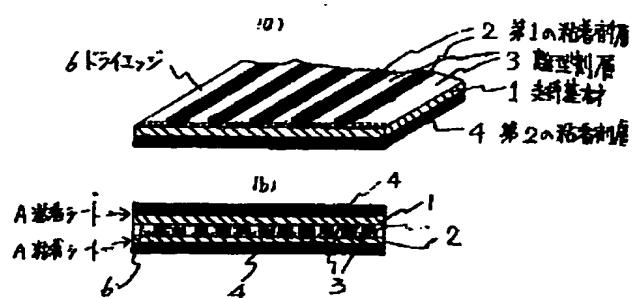
40 【図10】本発明の粘着シートの巻回体の他例を示す斜視図である。

【符号の説明】

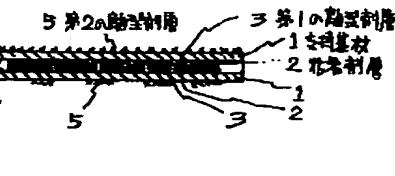
- 1 支持基材
- 2 第1の粘着剤層
- 3 第1の離型剤層
- 4 第2の粘着剤層
- 5 第2の離型剤層
- 6 ドライエッジ

(4)

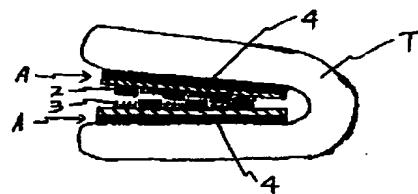
【図1】



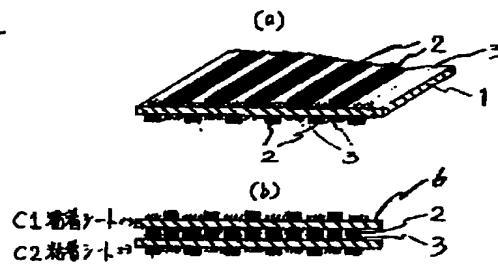
【図2】



【図3】



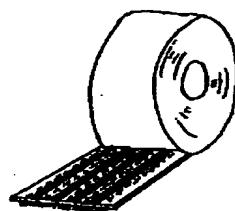
【図4】



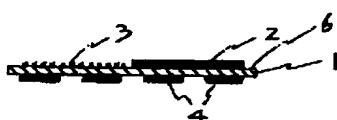
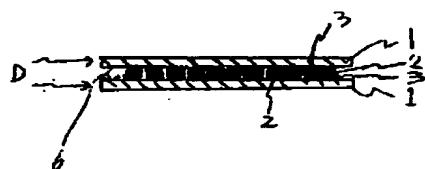
【図5】



【図9】



【図6】



【図8】

【図10】

